第248号　　月刊 住宅情報誌 躍 進　2023 年（令和 5 年）8 月 1 日（火）

1　2023 年度新人入社式
2　羅針盤　痛みを知ることが共感の第一歩
4　「自己超越の十訓」を深掘りする　②
6　「シロアリ注意報！」で注意喚起します
7　「足場パック」サマーキャンペーンもラストスパート
8　「落とし穴」を考える

2023 年度新人入社式

7 月 1 日に 2023 年度の新人入社式が行われました。前列向かって右端の笠井正行社長の隣が新人の**宮﨑陽平（26)**、左端の笠井輝夫会長の隣が同じく**大釜紀晴（33）**です。2 人は他社でビジネス経験を積んでおり、そこで身につけた数々のスキルを躍進の将来のために生かしてほしいと思います。

躍進は 2030 年度までに、20 代から 30 代の社員が主体となって活躍し、ベテランスタッフが若手をフォローし育成する社内体制を確立する長期計画があります。2 人の新人にも大いなる期待を寄せ、躍進の未来の礎を盤石なものにしたいと思っております。

痛みを知ることが共感の第一歩

㈱躍進
代表取締役
笠井輝夫

羅針盤

努力や苦労は痛みそのもの

躍進の代表取締役会長でありチーフ・ハピネス・オフィサー（Chief Happiness Officer、以下 CHO とする）、「幸福最高責任者」である私は、皆さんに自分の夢を叶え、幸福になってもらいたいと願っておりますが、その夢や幸福は簡単に実現するものではないのです。

人一倍の努力は言うに及ばず、理不尽なことを要求され、不当な苦労を強いられることがしばしばあり、それを乗り越えることができた一握りの人だけが、夢が叶い幸福になれるのです。

そうした努力や苦労は、痛みという言葉に置き換えても良いでしょう。なぜならどんな努力や苦労も、間違いなく痛みを伴うからです。そんな痛みを知らないと、自分だけでなく他人の悲しいことや苦しいこと、悔しいことなど、皆さんがそれぞれに経験している辛さを理解し共感することができず、自分が孤立してしまうことに発展するからです。

共感無くして成功無し

人が孤立してしまうと、周りの協力を一切得ることができません。確かに、自分１人で叶えることができる夢やなれる幸福もありますが、それは非常に規模が小さいものです。しかし、それでも自分自身が満足しているのであれば、それで良いかもしれません。

しかしビジネスにおいて、ある程度の規模の夢や幸福を実現するには、間違いなく他人の協力が必要です。「自分には部下がたくさんいる。彼らを動かして自分の夢を実現する」と豪語していても、その部下が自分の思い通りに機能してくれるとは限らないのです。

それでも強引に命令に従わせようとすれば反発を買うことは必至です。場合によっては退職という事態に至るのですが、優秀な社員、どうしても残っていてほしい社員ほど、真っ先に辞めていくものです。なぜなら、そんな指導者には共感できず、付き従うことで人生を無駄に過ごしたくないからです。まさに他人の共感無くして自らの成功無しなのです。

痛みによって心をつなぐ

ある教養バラエティ番組で、パネラーの心理学者が「体が頑健な人ほど人の痛みが分からない」と指摘していました。体の丈夫さと心の痛みを感じることは関連性が無いように思えるのですが、頑健な人は自分が痛いと感じないため相手の痛みが理解できず、時には甘えに映るからだというのです。それが心の部分にも当てはまってしまうからです。

確かに、昭和の時代には「風邪なんて病気のうちに入らない。休みたいなど甘ったれたこと言ってないでとっとと出社しろ」という空気が当たり前でした。

しかし実は、そんな健康の塊のような上司が、何かのはずみで風邪をひいた時、「風邪をひくとこんなにも辛いのか」と初めて身をもって気づき、それ以来、軽微な体調不良以外には共感をもって休みを勧めるようになったといいます。このようにして、人というのは痛みによって心をつなぐことができるようになるのです。

心の痛みはなかなか消えない

また、風邪や軽微な怪我などから発する体の痛みは、比較的短い時間で消えていくものですが、心の痛みはなかなか消えるものではありません。

友達と喧嘩して殴られても短時間で痛みは消えますが、自分のコンプレックスや、家庭環境など自分自身ではどうすることもできない状況を酷い言葉で揶揄されれば、その傷はなかなか癒えず、場合によってはトラウマとなって永遠に残ることになるのです。

しかし、もし言葉が与える痛みのほうが大きいことを知っていれば、決して口にすることなく、良き言葉から共感を得られれば、絆へと昇華していくでしょう。

「他者を救いたい」が自分も救う

それでも、夢や幸福は自分１人で叶えることができ、そもそも自分のためだけのものだと主張する人がいます。しかし、躍進の代表取締役会長でありチーフ・ハピネス・オフィサー（CHO)、「幸福最高責任者」として、改めて皆さんに問いかけますが、自分１人だけ夢が叶い幸福になればそれでよいのでしょうか。

決してそんなことはないはずです。他人の痛みを知れば、自分だけ夢が叶い幸福になっても嬉しくないはずです。他人の痛みを知り共感を得て、他者を救うことを通し、最終的には自分自身が救われて、夢が叶い幸福になれるのです。改めて他人の痛みを知ることが共感の第一歩であり、夢や幸福に近づく第一歩でもあることを忘れないでください。

「自己超越の十訓」を深掘りする ②

環境の変化に誰よりも敏感になる

前号から始まりました「『自己超越の十訓』を深掘りする」は、私が毎日投稿しているブログ『森羅万象をから学ぶ羅針盤』に掲載した内容を加筆・訂正し、情報誌1号につき2テーマを5回に分けて再掲し連載を始めたものです。今回は3つ目と4つ目をご案内いたします。まずは3つ目の「環境の変化に誰よりも敏感になる」です。

これに関連して、楽天グループの創業者である三木谷浩史氏は、成功のコンセプトの1つとして「スピード！スピード！スピード！」を挙げています。あらゆる仕事でも、特に現場での対応にはスピードが求められます。

もちろん慌てて、粗雑な仕事をしていては意味がありません。むしろ、スピードを意識してあらゆる仕事に臨めば、時間の有効活用の必要性に気付き自動的に集中力がアップするものです。当然「段取り八分」も実行され、知らぬ間に仕事の質も高まるのです。

「生き馬の目を抜く」と言われているビジネスの世界では、日進月歩どころか秒進分歩の変化を余儀なくされます。いま流行りのものがあっという間に古くなることなど日常茶飯事なのです。

そんな環境の中で自己超越するためには、何よりもスピード重視で、どんな分野でも一番乗りを果たし、美味しいところを先取りして独占してしまうようなスピード感が要求されるのです。じっくり腰を落ち着けて世の中のために役立つものを生み出そうという考えも立派ですが、いま流行しているものが事業化の段階に至った時には、潮目が変わって流行遅れになっていたなどという話は枚挙に暇（いとま）がありません。

それでは自己超越などは夢のまた夢となるでしょう。環境の変化に誰よりも敏感になることは、自己超越が可能になる重要な要素の1つであることを強く認識してください。

必然のみを積み上げていく

4つ目は、「必然のみを積み上げていく」です。ビジネスにおける必然とはどのようなものでしょうか。必然の反対語は偶然です。そしてビジネスの世界では、偶然、つまりまぐれ当たりを期待しながら仕事に臨んではいけないのです。何よりも必然を生みだす努力こそが自己超越に求められるのです。

しかし、現実の努力は生易しいものではありません。まず自分の能力や特性を客観的に的確に判断し、正しく有効な方向に向かって最大限に努力するのです。そして、その努力から得られる成果は、10のうち1、良くて2か3ぐらいであるという現実こそが、必然の確率です。そんな現実を垣間見て、「努力なんて虚しいだけだ」として一切努力しなければ、いつまでもゼロのままか、悪くすればマイナスの方向に向かうこともあるのです。

仮に努力が報われなくても、「努力した事実・実績」は残り評価されます。それが元になって、別の分野で活躍し成果を上げることも可能になるのです。やはり努力という必然の積み重ねだけが、ビジネスに限らず、すべての物事の成果となって反映されるのです。

しかし、人間という生き物は成功体験が大好きで、それが必然によるものか、単なる偶然の産物なのかが分からないのです。また、誰かの伝記や体験記を読んだり、有名人の講演を聴いたりして、自分も同じようにすれば成功できるような錯覚に陥るのですが、そうした伝記、体験記、講演の内容は、大半が自慢話であることが現状のようです。

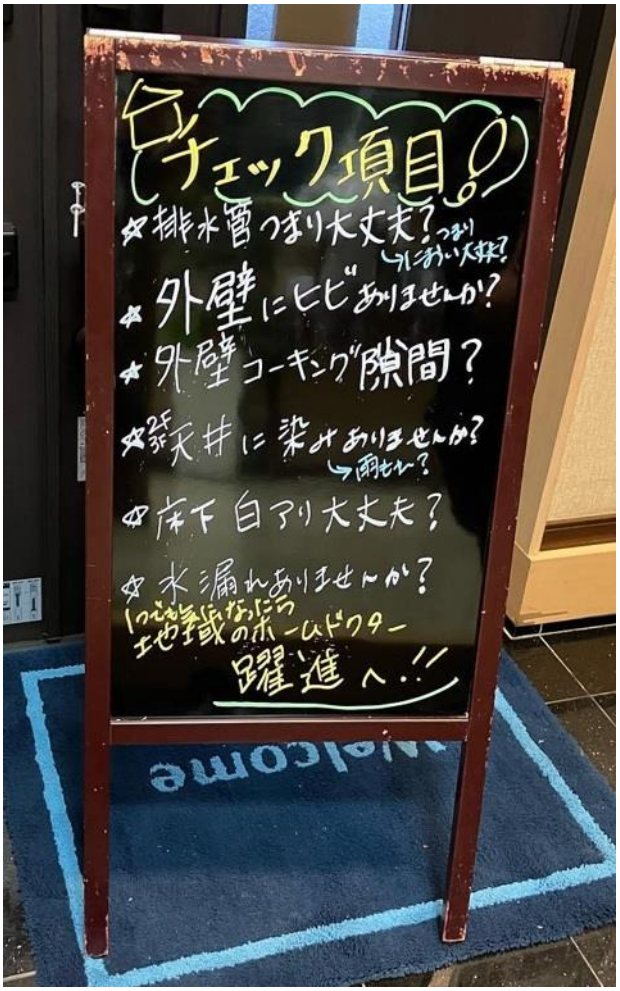
さらに言ってしまえば、成功者は自分の体験や実績、手法を、誰にでもあてはまるように普遍化しがちなのです。それは自己顕示欲の正当化に過ぎません。そんな人の話をあてにしても自己超越どころか、空回りに終わることが多いと思います。

もちろん、その人の話を元に実施したことで、一定の成果をあげることはあるかもしれませんが、それは単なる偶然です。そして、それは一時的な評価に過ぎず、当然ながら自己超越はできません。

やはり、人それぞれに合った努力という必然の積み重ねによる実証実験しかないのです。それには、その人の個性というものをしっかり生かしながら努力しないと、いつの間にか心が抜けた徒労になってしまうのです。飾ったり取り繕ったりする必要はありません。ありのままの姿で努力し、必然を積み上げていってほしいものです。

そして、前述のように能力、特性、方向性を、正しく見極めた努力から得られる成果をしっかり掴み、挫けることなく必然のみをじっくり積み上げてこそ、いつの間にか自己超越していることを忘れないでください。

「シロアリ注意報！」で注意喚起します



躍進名物の「シロアリ注意報！」の看板において、梅雨明け以降に訪れる台風をはじめ、ゲリラ豪雨、線状降水帯がもたらす大雨被害から家を守るためのチェック項目をご案内しています。

排水管の詰まりを放置すれば、台風や大雨でなくても日常生活に支障を来たし、溜まった臭いによって、その兆候が現れます。

外壁のヒビは、当然ながら雨水の侵入を招き、壁内に水が溜まれば、シロアリだけでなく腐朽菌の発生を引き起こします。同時に、コーキングした部分に隙間が発生するという経年劣化も見逃せません。

2 階の天井にシミが発生していれば、間違いなく雨漏りが原因であり、屋根の総チェックをしましょう。また、様々な箇所にいつの間にか水漏れが発生しています。もちろん床下のチェックも忘れないでください。こんなときは迷わずに躍進にご一報ください。ご連絡をお待ちしております。

「足場パック」サマーキャンペーンもラストスパート

躍進のリフォーム総合提案「足場パック」のサマーキャンペーンもラストスパートを迎えております。その代表となる商品が、**『飛騨炭　床下調湿材』『カーボエース』『床下用攪拌・換気システム』**の**「床下3点セット」（写真参照）**です。

セラミック炭から作られた脱臭調湿材『飛騨炭　床下調湿材』は、床下に1坪あたり約12袋敷つめるだけで床下の湿気をコントロールします。底面をフィルム加工してありますので地面からの湿気もシャットアウトします。

同じく、セラミック炭から作られた土壌改良材『カーボエース』は、保肥性、保水性に優れ、病害虫の発生を抑制します。また、土中から放出されるガスを吸着するほか、ph調整機能、土中有効微生物の繁殖促進効果もあります。

『床下用攪拌・換気システム』は、中央部設置によるダイレクト換気（新方式）により1台で20坪までの床下をカバーします。これは、従来の床下換気扇3台分に相当します。
換気と撹拌機能を同時に搭載した高効率換気システムであり、床下中央部の高湿エリアをダイレクトに撹拌換気します。これにより、布基礎や基礎パッキン工法、基礎断熱工法等、あらゆる構造の床下に設置可能です。
「床下3点セット」のご注文、お問い合わせは躍進までお気軽に。

「落とし穴」を考える　住宅コラム

住宅を取得するお施主様は、その99%が住宅に関して素人と言っても過言ではないでしょう。では、玄人と素人の差とは何かと言えば、図面を見て実際に建てられる物件とほぼ同じものをイメージできるのが玄人です。

そんな大半を占める素人のお施主様は、展示場を訪れたり様々な完成見学会や構造見学会に参加したりするのですが、いくら実物を見ても、実際に暮らした時に使い勝手が良いかどうかを判断できないのです。

これについて、ある住宅関連情報機関が、家を建てたことのある全国20代～60代以上の男女約400人に、家を建てた後の感想について調査したところ、8割以上の人から「後悔している部分がある」という回答を得ています。

そのワースト1は間取り、ワースト2は収納スペースでした。これは実際に生活してみないと一番分からないものの最右翼でしょう。まず動線が意外に不便であるからはじまり、収納スペースにこだわる半面、同時に無駄なスペースも発生します。家族それぞれの生活習慣が違うのにも拘らず、全員の動きが一致するという錯覚や、計画的に断捨離しないと物は自然と増えていくという「落とし穴」にはまってしまうからです。

ワースト3は立地や環境でした。立地の「落とし穴」は、昼夜の差と私道・私有地の存在で、建物図面だけでは分かりません。駅から徒歩15分以上かかる物件をみるとき、昼間ばかりでなく夜間、特に午後10時過ぎの様子を確認しましょう。街灯の数が意外に少ないため、女性でなくとも独り歩きが怖いような道は各所に存在します。

また、一見道に見える舗装されていない通路は完全な個人の敷地であることが多く、日常的に通行に使えば地権者に通行を止めるように言われることもあり、それを無視して通行し続ければ刑法第130条の「住居侵入等」に準じ、警察に通報されることもあるのです。

工務店様やビルダー様は、ご自身の生活体験からの間取りにおける動線や収納スペースの活用法のアドバイスをはじめ、さらには公図を取り寄せ周辺における私有地や地権者の人柄、昼夜の環境変化などの確認を怠ることなく、お施主様が「落とし穴」にはまらないよう最大限の努力を実行してください。

株式会社 躍進
本　社 〒337-0043 埼玉県さいたま市見沼区中川106-1 TEL048-688-3388 FAX048-680-7615
東京営業所 〒107-0062 東京都港区南青山2-2-8 DFビル2F TEL03-6804-2541 FAX03-6804-2542
URL=http://www.yakushin.jp　E-mail=yakushin-no1@nifty.com
関連会社 不動産事業 株式会社ヤクシンジャパン
関連会社 株式会社First Arrows ファーストアローズ
事業内容
防水工事：FRP、ウレタン、塩ビシート、ゴムシート、アスファルトシーリング、注入、ピンニング、シングル葺き
木材保存工事：床下点検、シロアリ駆除及び予防、調湿剤、床下換気 等
塗装工事：各種塗装
外部点検：屋根、陸屋根、バルコニー、外壁 等診断